

# GROUP GUIDE

阪急阪神ホールディングスグループ **2020**



阪急阪神ホールディングス株式会社  
<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>



使命

私たちは何のために集い、何をめざすのか

「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすることで、  
お客様の喜びを実現し、社会に貢献します。

価値観

私たちは何を大切に考えるのか

1 お客様原点

すべてはお客様のために。これが私たちの原点です。

2 誠実

誠実であり続けることから、私たちへの信頼が生まれます。

3 先見性・創造性

時代を先取りする精神と柔軟な発想が、新たな価値を創ります。

4 人の尊重

事業にたずさわる一人ひとりが、かけがえのない財産です。

行動規範

「価値観」を守り、「使命」を果たしていくために、  
私たちはどのように行動するのか

1 私たちは、出会いを大切にし、お客様の立場に立って最善を尽くします。

2 私たちは、法令遵守はもとより、社会的責任を自覚して行動します。

3 私たちは、仕事に責任と誇りを持ち、迅速にやり遂げます。

4 私たちは、目先のことにとらわれず、中長期的な視点で考えます。

5 私たちは、現状に満足することなく、時代の先を見据えて取り組みます。

6 私たちは、思いやりの心を持ち、お互いを認め合います。

7 私たちは、活発にコミュニケーションを行い、風通しのよい職場をつくります。

8 私たちは、グループ全体の発展のために力を合わせます。

阪急阪神ホールディングスグループは、2006年10月に阪急ホールディングスと阪神電気鉄道との経営統合によって誕生しました。それ以降、阪急阪神が力を合わせて各事業の競争力を高めるとともに、グループ総合力を発揮することにより、グループ全体の収益力の向上や利益伸長を図り、並行して財務体質の改善にも取り組み、着実に成果を挙げてきました。

しかしながら、当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化等の影響による沿線人口の減少や、技術革新の進展等に伴うライフスタイルや生活環境の変化に伴って、大きく変わっていくことが予想されます。そうした中でも、持続的に成長を志向する企業グループとなることを目指して、当社グループでは、2017年に「阪急阪神ホールディングスグループ 長期ビジョン2025」を発表しました。そして、この長期ビジョンを実現するための具体的な実行計画として、2018～2021年度を計画期間とする中期経営計画を策定し、同計画に基づいた施策を着実に推し進めてきております。ただ、足元では多くの事業で新型コロナウイルスの影響を大きく受けており、また同ウイルスの発生を契機に、ライフスタイルやビジネススタイルが変化しつつあります。こうした社会の変化が当社グループの既存のビジネスモデルにこれから影響を及ぼすことも想定されますので、そうしたことも念頭に置いて、引き続きグループを挙げて長期ビジョンの実現に取り組んでまいりる所存でございます。

また、当社グループでは、今般、持続可能な社会の実現に向け、今後の取組の方向性を示すものとして「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」を策定しました。これからは、同宣言に基づき、サステナブル経営をこれまで以上に推進し、グループのESG(環境・社会・企業統治)に関する取組をさらに加速させるとともに、事業を通じて社会課題の解決に努め、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

今後も、グループ経営理念を実現すべく、お客様や地域社会等との信頼関係を構築しながらグループ全体の成長を推し進め、関係する皆様方のご期待に応えられるようグループ一丸となって取り組んでまいりますので、これからもご愛顧とともに一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年7月



阪急阪神ホールディングス株式会社

代表取締役会長 グループCEO

角 和夫

代表取締役社長

杉山 健博

## グループのあゆみ

### 阪急

- 1907 > 箕面有馬電気軌道(株)(現 阪急電鉄株)を創立
- 1910 > 鉄道の営業を開始  
(宝塚本線 [梅田-宝塚]、箕面線 [石橋-箕面])  
> 土地建物分譲事業を開始(「池田室町住宅地」売出開始)
- 1913 > 宝塚唱歌隊(後の宝塚歌劇団)を結成
- 1914 > 宝塚歌劇の第一回公演を実施
- 1926 > 旧 宝塚ホテルが開業  
(2020年3月営業終了、同年6月移転開業)
- 1929 > 梅田阪急ビルが竣工  
(東洋初のターミナルデパート  
「阪急百貨店」が営業を開始)
- 1947 > 百貨店部門とこれに付帯する事業を分離し、  
(株)阪急百貨店を設立
- 1948 > 航空代理店業を開始  
(パンアメリカン航空会社と日本で  
初めて代理店契約を締結)  
> わが国初のIATA航空貨物  
取扱代理店の認可を取得
- 1952 > 阪急不動産(株)(現 阪急阪神不動産株)を設立
- 1960 > (株)阪急国際交通社(現 (株)阪急交通社)を設立
- 2004 > 不動産投資信託(REIT)事業へ参入



### 阪神

- 1899 > 摂津電気鉄道(株)(現 阪神電気鉄道株)を創立
- 1905 > 鉄道の営業を開始(神戸 [三宮]-大阪 [出入橋])
- 1909 > 土地建物賃貸業を開始(西宮停留所前に貸家30戸完成)
- 1924 > 甲子園球場  
(後に阪神甲子園球場  
と改称)を開設
- 1933 > 阪神マートが梅田停留所に開業  
(ターミナルでの小売業に本格的に進出)(1941年9月閉鎖)  
> 三宮阪神ビルが完成  
(神戸そごうに賃貸、  
ビル賃貸事業へ  
本格的に進出)
- 1935 > (株)大阪野球倶楽部  
(大阪タイガース、後の(株)阪神タイガース)を設立
- 1937 > 六甲山での事業を開始(六甲山カンツリーハウスを開設)
- 1940 > 阪神マート(後の阪神百貨店)が開業
- 1948 > 航空代理店業を開始  
(カンタス航空と代理店契約を締結)
- 1950 > IATA航空貨物取扱代理店の認可を取得
- 1967 > ホテル阪神(現 ホテル阪神大阪)の営業を開始
- 1991 > 都市型CATV局チャンネルウェブあまがさが開局
- 2006 > 「ビルボード」マスターライセンス契約を締結



## 2006 阪急阪神ホールディングス(株)が発足

- 2007 > 阪急・阪神共通の新グループカード「STACIA」の発行を開始
- 2008 > (株)阪急阪神ホテルズを設立  
(株)阪急ホテルマネジメント、(株)ホテル阪神および  
ホテル阪神レストラン・システムズ(株)の3社が合併し、商号を変更)  
> (株)阪急エクスプレスを設立(株)阪急交通社の国際輸送部門を  
(株)阪急エクスプレスに分社化)
- 2009 > (株)阪急阪神エクスプレスを設立  
(株)阪急エクスプレスと阪神エアカーゴ(株)が合併し、商号を変更)
- 2018 > 阪急阪神不動産(株)を設立  
(阪急電鉄株および阪神電気鉄道株の不動産事業を  
阪急不動産株に移管し、同社の商号を変更)

## グループの概要

私たちは、人々の暮らしを支え、暮らしを彩り、  
豊かなライフスタイルを提案する企業グループです。

阪急阪神ホールディングスグループは、鉄道事業をベースに住宅・商業施設等の開発から阪神タイガースや宝塚歌劇など魅力溢れるエンタテインメントの提供に至るまで、多岐にわたる分野において、それまでになかったサービスを次々と提供することにより、沿線をはじめ良質な「まちづくり」に貢献するとともに、社会に新風を吹き込み、100年以上の長い歴史の中で数々の足跡を残してきました。そして、これらの活動等を通じて、暮らしを支える「安心や快適」、暮らしを彩る「夢や感動」を絶えずお客様にお届けしてきました。私たちは、これからも、培ってきたブランドやまちづくりのノウハウを活かし、グループ一丸となって良質なサービスを提供していきます。

## コア事業と中核会社

当社グループでは「都市交通」「不動産」「エンタテインメント」「情報・通信」「旅行」「国際輸送」「ホテル」の7つの事業領域をコア事業と位置付けています。また、グループ経営機能を担う当社の下、阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪急阪神不動産、阪急交通社、阪急阪神エクスプレス、阪急阪神ホテルズの6社を中核会社として、グループ全体の有機的な成長を目指しています。

## コア事業推進体制



※梅田・沿線エリアでは、阪急電鉄および阪神電気鉄道が賃貸・開発用不動産を保有しながら、阪急阪神不動産と協働して、交通ネットワークや地元自治体などと連携したまちづくりを推進しています

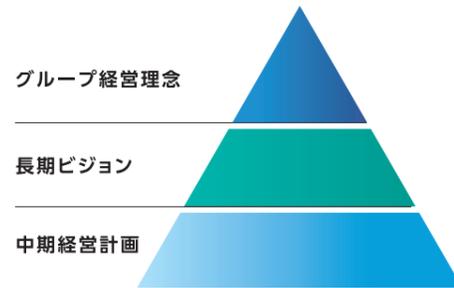
(2020年4月1日現在)

## 長期ビジョン2025

当社グループでは、長期的にありたい姿とそれに向けて取り組むべき方向性・戦略を示すものとして「阪急阪神ホールディングスグループ 長期ビジョン2025」を策定し、2017年5月に発表しました。この長期ビジョンでは、阪急・阪神の経営統合から20年を迎える2025年度をターゲットにして、人口の減少や技術革新の進展といった事業環境の変化を見据えながら、事業エリアとビジネスモデル(ストック型事業<sup>※1</sup>またはフロー型事業<sup>※2</sup>)という2つの基軸をベースに、4つの戦略を定めています。

※1 ストック型事業:土地建物等の固定資産を保有して営業活動を行う事業  
(鉄道事業、不動産賃貸事業、放送・通信事業、ホテル事業など)

※2 フロー型事業:大規模な固定資産を保有することなく、事業ノウハウ、人的資源およびブランド資産等を活用して営業活動を行う事業  
(不動産分譲事業、スポーツ事業、ステージ事業、情報サービス事業、旅行事業、国際輸送事業など)



スローガン

# 深める沿線 広げるフィールド

### 持続的な企業価値の向上

生活(顧客)価値の向上    社会価値の向上    経済価値の向上

戦略1 ストック型事業(梅田・沿線)

関西で圧倒的No.1の沿線の実現

戦略2 ストック型事業(首都圏・海外)

首都圏・海外での安定的な収益基盤の構築

戦略3 フロー型事業

ブランド価値の最大化と差別化戦略の徹底追求による競争力強化

戦略4

グループ総合力の更なる発揮と新事業領域の開拓

## 長期的にありたい姿(2025年度時点で目標とする経営指標)

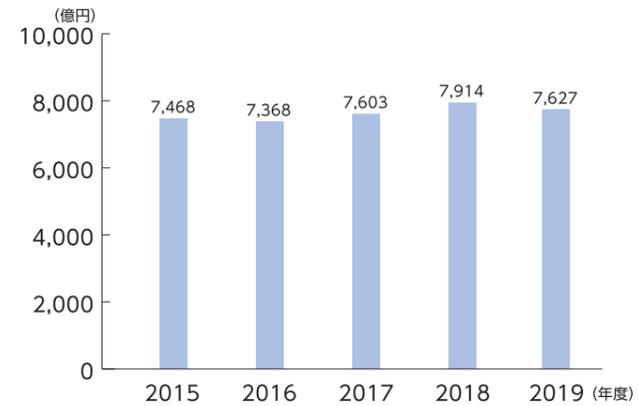
人口動態の変化の影響を大きく受ける2040年度頃においても、営業利益が最低でも1,000億円水準を生み出せる企業グループになることができるよう、長期ビジョンに掲げる戦略①～④の取組を推し進めることにより、2025年度時点で営業利益1,200億円・EBITDA<sup>※</sup>2,000億円・有利子負債/EBITDA倍率5倍台を目指します。これにより、収益性と財務健全性を示すいずれの指標においても、引き続き大手民鉄の中でトップクラスの水準を確保していきます。

※EBITDA:「営業利益+減価償却費+のれん償却額」により算出

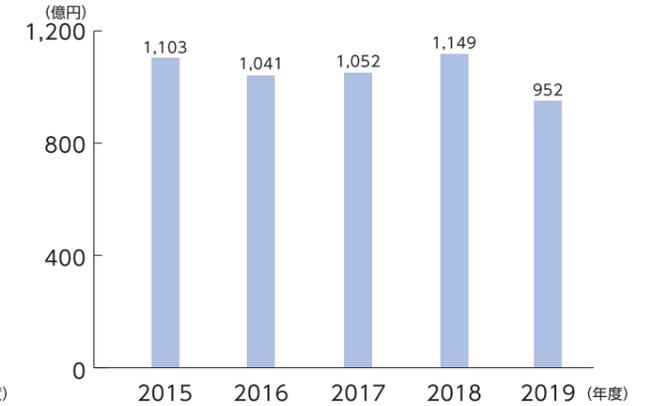
収益性 営業利益 **1,200**億円 EBITDA **2,000**億円 財務健全性 有利子負債/EBITDA倍率 **5**倍台

## 業績の推移

### 営業収益



### 営業利益

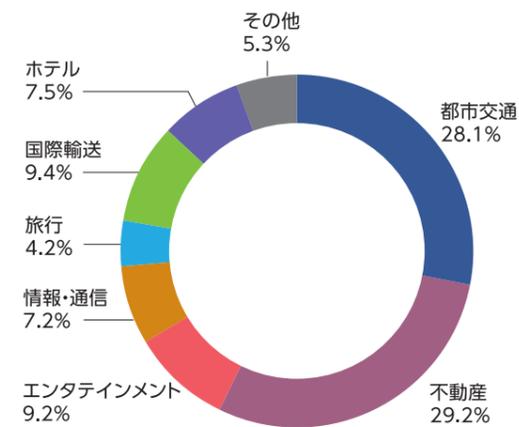


※2019年度は、不動産事業において前期に彩都東部地区(大阪府茨木市)の施設用地を売却した反動があったことに加え、第4四半期に新型コロナウイルスの影響を多くの事業で受けたため、減収・減益

## 事業ポートフォリオ

当社グループの事業ポートフォリオは、都市交通事業と不動産事業で営業収益の約6割、営業利益の約8割を占め、安定的なキャッシュフローを創出しています。また、エンタテインメント事業の貢献度が、同業他社に比べて高いことが、当社グループの特徴となっています。

### 〈2020年3月期〉営業収益の構成比



※構成比はセグメント間取引を含む各セグメントの単純合算額を基に算出

連結合計	都市交通事業
営業収益	2,272億円
営業利益	401億円
不動産事業	エンタテインメント事業
営業収益	740億円
営業利益	117億円
情報・通信事業	旅行事業
営業収益	338億円
営業利益	2億円
国際輸送事業	ホテル事業
営業収益	603億円
営業利益	△31億円

収益性	営業利益	952億円
	EBITDA	1,541億円
	親会社株主に帰属する当期純利益	549億円

財務健全性	有利子負債	9,035億円
	有利子負債/EBITDA倍率	5.9倍
	D/E レシオ <sup>※</sup>	1.0倍

※D/Eレシオ:有利子負債/自己資本で算出



# 都市交通事業 Urban Transportation

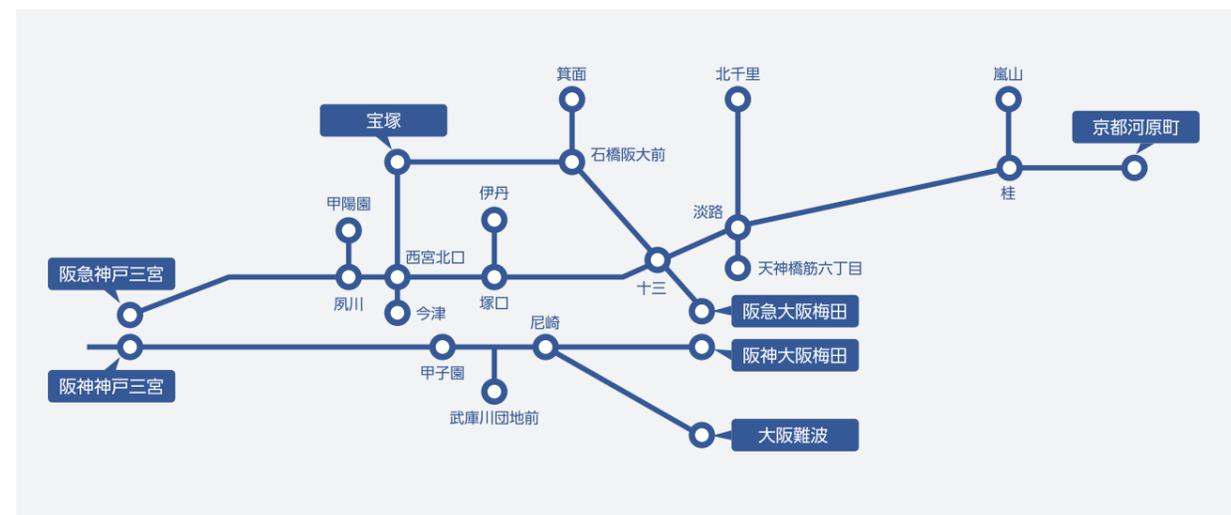
鉄道・バス・タクシーが連携して、安全・安心・快適で多彩な輸送サービスを提供

阪急電鉄と阪神電気鉄道の2社を中心に、鉄道・バス・タクシーなどが連携して、京阪神を中心とした関西圏における一大ネットワークを形成しています。交通広告と駅ナカ・駅チカの物販施設を運営する流通部門を一体的に運営し、相乗効果を発揮することで、沿線の新たな価値創造にも取り組んでいます。



## 鉄道

大阪梅田と、神戸・宝塚・京都を結ぶ阪急電鉄。私鉄で唯一、大阪梅田(キタ)と大阪難波(ミナミ)に乗り入れる阪神電気鉄道。この2社を中心に、社会を支える鉄道インフラとして関西圏で鉄道ネットワークを形成し、安全・安心・快適な輸送サービスを提供しています。



## バス・タクシー

鉄道と連携して、阪急・阪神沿線を中心にバス・タクシーを運行しています。阪急バス・阪神バスでは、路線バスのリアルタイムな運行状況などを検索できるバスロケーションサービスを提供するほか、ハウスICカード乗車券「hanica」を導入するなど、お客様の利便性向上に努めています。阪急タクシー・阪神タクシーでは、各種電子決済を取り扱うなど、多様化する決済ニーズに対応。環境への配慮からエコドライブの推進にも取り組んでいます。



## 交通広告

電車内・コンコースはもちろん、駅構内のデジタルサイネージやイベントスペースといった駅の区画を活用し、「価値ある空間」をご提供。交通広告の戦略的メディアミックスを実現しています。



## 流通

阪急・阪神沿線の駅ナカを中心に、化粧品・服飾雑貨店「カラーフィールド」や家具・インテリア雑貨店「ダブルデイ」のほか、食品スーパー「成城石井」のフランチャイズ店舗などを展開しています。また、外部パートナー企業と提携して幅広く小売サービスを提供することで、お客様の利便性向上に努めています。





## 不動産事業 Real Estate

### 魅力あるまちづくりへの貢献と 豊かなライフスタイルの提案

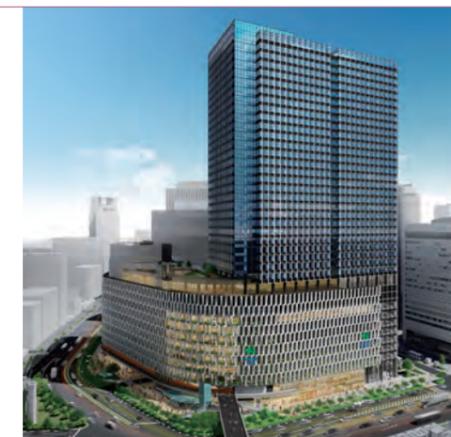
創業期から魅力あふれる沿線づくり・まちづくりにこだわり、都市交通事業と共に成長を続けてきた不動産事業。  
 まちに賑わいをもたらす商業施設やオフィスビルの開発・賃貸・運営管理、  
 そしてライフスタイルにフィットした上質な住まいの提供。  
 さらには不動産と金融の融合を実現する不動産ファンド事業。  
 「まちづくり」のDNAを受け継ぐ者たちが描く未来図は、さまざまな形で実を結んでいます。



#### 開発

### まちに賑わいをもたらす さまざまな開発プロジェクトを推進

大阪梅田においては、2022年の全体竣工を目指して「梅田1丁目1番地計画」(ビル名称:大阪梅田ツインタワーズ・サウス)を推し進めているほか、神戸三宮においては神戸阪急ビル東館建て替え・西館リニューアル計画を、大阪府茨木市においては大規模物流施設の開発計画を、それぞれ着実に進めています。また、首都圏においても東京都心5区を中心に、さまざまな開発プロジェクトに取り組んでいます。



大阪梅田ツインタワーズ・サウス(イメージ)

#### 賃貸

### 数多くの商業施設・オフィスビルを保有・管理し、魅力あるまちづくりに貢献

梅田阪急ビル、グランフロント大阪、ハービスOSAKA・ハービスENT、阪急西宮ガーデンズなど、大阪梅田や阪急・阪神沿線を中心に、数多くの商業施設・オフィスビルを保有。賃貸可能面積は合計で約190万㎡※に上ります。  
 グループ内の主要ショッピングセンターで利用できる「阪急阪神おでかけカード」のサービスなどを通じ、競争力の強化と稼働率の維持向上などに取り組んでいます。

※2020年3月末現在



ハービスENT



阪急西宮ガーデンズ

#### 分譲

### 「ジオ」ブランドの分譲を中心にお客様の夢をかなえる住まいを提案

お客様の視点で品と質にこだわり、時を経るごとに愛着を感じていただける住まいづくりを目指す「ジオ」ブランドのマンション。加えて、新たな戸建ブランドとして「ジオガーデン」が誕生。これらを中心に、お客様の夢をかなえる住まいをご提案しています。



ジオ福島野田 The Marks



ジオガーデン彩都箕面

#### 海外事業

### ASEAN各国へ進出

国内での実績を活かし、タイ・ベトナム・フィリピン・インドネシア・マレーシアの5カ国で、約3万戸※の住宅分譲プロジェクトに参画しており、今後も海外における不動産分譲事業の拡大を目指しています。  
 また、インドネシアにおいて、海外での不動産賃貸事業に本格的に参入。同国を代表する商業・オフィス・ホテルからなる複合施設「ブラザインドネシアコンプレックス」と、劇場・映画館などが入居する商業施設「IXスタイルマン」を保有する現地事業体に出資し、事業運営に積極的に関わっています。

※2020年7月現在



ニッチ モノ スクンビット ベアリング(タイ)



ブラザインドネシアコンプレックス



# エンタテインメント事業 Entertainment

## 人々を魅了する「夢」と「感動」をプロデュース

全国の熱狂的なファンに支持される阪神タイガースと阪神甲子園球場、そして、「清く 正しく 美しく」を理念として歴史を刻み続ける宝塚歌劇。当社グループ固有の強みであるスポーツ事業とステージ事業をはじめ、多彩なライブエンタテインメントを提供し、お客様の暮らしを彩っています。



### スポーツ

#### 阪神タイガース



プロ野球の中でトップクラスの観客動員数を誇り、2020年に85周年を迎える歴史と伝統の人気球団。観客を魅了する選手たちのプレーは、日本の野球界発展に寄与し続けています。



#### 阪神甲子園球場

阪神タイガースのホームグラウンドとして知られるほか、2018年春に第90回、夏には第100回記念大会を迎えた高校野球の舞台。全日本大学アメリカンフットボール選手権大会の決勝戦をはじめとする大型イベントの会場にもなっています。2019年に95周年を迎えましたが、今後もその歴史と魅力を色あせることなく発信し続けていきます。



### 音楽

#### ビルボード

100年以上の歴史を持ち、世界で最も信頼される音楽ブランドである“ビルボード”。2006年に日本におけるライセンス契約を締結し、クラブ事業をはじめ多角的に展開しています。



### レジャー

#### 六甲山

日本有数の夜景が見られる六甲山は、訪日外国人観光客にも人気のスポット。スキー場や植物園、展望台、オルゴールミュージアムなど多彩なレジャー施設を展開しています。また、六甲山の自然・眺望と現代アート作品を組み合わせた展覧会「六甲ミーツ・アート」も好評を博しています。



### ステージ

#### 宝塚歌劇



世界でも数少ない女性だけの劇団として、お客様を夢と感動のステージへと誘う宝塚歌劇団。1914年の第一回公演から100年を超える歴史が綴られてきました。宝塚大劇場・東京宝塚劇場での通年公演や全国各地での公演に加え、これまで計18の国と地域・計27回\*の海外公演も実施し、高い評価をいただいています。また、専門チャンネル「TAKARAZUKA SKY STAGE」やインターネットを通じた映像・音楽の配信、映画館でのライブ中継など、多方面へのメディア展開も行っています。

\*2020年7月現在



#### 梅田芸術劇場

1,905席のメインホールと898席のシアター・ドラマシティの2つの劇場を運営し、演劇やミュージカル、コンサート、宝塚歌劇などの多彩な公演を上演しています。





## 情報・通信事業 Information and Communication Technology

### 情報・通信技術の活用を通して、 社会の発展に貢献

社会インフラに関するシステム開発や、Eコマース（電子商取引）サイトの構築・保守などの情報サービス事業、テレビ・インターネット・電話の各サービスを中心とした地域密着型の放送・通信事業、さらには、セキュリティサービスや、プログラミング教育といったあんしん・教育事業を通じて、高度情報化社会のビジネスをサポートするとともに、日々の暮らしに安心・快適をお届けしています。



#### 情報サービス

##### アイテック阪急阪神

EコマースやWeb制作などのインターネットビジネスに加え、長年培ってきた鉄道やビルなどの社会インフラに関するシステム開発を幅広く行っています。また、臨床検査・健診・健康経営などの医療分野のソリューションや高品質なソフトウェア開発などの受託サービスも展開。生活に関わる安心と快適をお届けし、さらなるソリューション強化による全国規模の拡大を目指しています。



#### 放送・通信

##### ベイ・コミュニケーションズ(Baycom)、 姫路ケーブルテレビ(WINK)、 BAN-BANネットワークス

沿線地域を中心に、テレビ・インターネット・電話を快適にご利用いただける情報インフラを提供。最近では、ハイスピードな光インターネットサービスや、携帯電話と同等の通信速度を有する高速無線インターネットをご利用いただけるようになったほか、地域に密着したオリジナル番組（コミュニティチャンネル）の制作にも力を入れています。



#### あんしん

##### ミマモルメ

無線ICタグを持った子どもが学校の校門を通過すると、保護者にメール通知が届く「ミマモルメ」と、このシステムを応用し、自治体が設置した見守りカメラが子どもや高齢者などの見守り対象者の位置情報を通知する「まちなかミマモルメ」により、安全・安心に暮らせるまちづくりに貢献しています。



#### 教育

##### プログラボ

子ども向けロボットプログラミング教室「プログラボ」。論理的思考力や問題解決能力、創造力を養成し、未来を担う子どもたちの「夢を実現するチカラ」を育みます。プログラミング教育への注目度を背景に、生徒数は約4,000名となり、学校での出張・課外授業にも取り組んでいます。





# 旅行事業 Travel

## お客様の声に応える「旅」を創出

1948年の創業以来、常に「お客様目線」を大切に、多様化するニーズに応じてまいりました。長年培ったノウハウで、パッケージツアーから個人旅行、企業の団体旅行や業務渡航、そして訪日外国人旅行に至るまで、品質を大切に安心・安全な旅と感動を提供しています。



### 国内旅行・海外旅行

5つのブランド展開で、お客様に「心に届く旅」を提供



行きたい旅、見つかる。



ともに、感動。深まる。



「思いどおりの旅」という贅沢を。



添乗員付きツアーを中心に全世界を舞台とした旅行事業を展開。2019年に30周年を迎えた「トラピックス」をはじめ、ゆとりの旅の「クリスタルハート」「阪神航空フレンドツアー」、自由な旅の「e-very」、思い通りの贅沢をかなえる「ロイヤルコレクション」の多彩な5ブランドを、新聞広告や情報誌、Web、テレビ通販とCMなどのメディアを通じて、販売しています。また、クルーズ旅行、「クリスタルクルーザー『すみれ』」を利用した国内のこだわりバス旅行、ハイキング、着地型旅行など多様化するニーズに応える新たな旅の創造にも注力しています。



### 団体旅行・MICE

団体旅行のさまざまなご要望に対応

企業・法人向けに、視察旅行や報奨旅行、研修旅行、イベント・コンベンションといった団体旅行や、修学旅行などの教育旅行を企画、提案。長年にわたって培った経験と知識を活かし、お客様の多様なニーズにお応えします。



### 訪日外国人旅行

きめ細やかなサービスで訪日旅行をプロデュース

ヨーロッパやシンガポールなどの海外拠点において、新規マーケットの開拓と拡大に取り組んでいます。欧米・東南アジアをはじめ、世界各国から訪日されるお客様にご満足いただけるように、万全の受け入れ体制でお迎えます。



### 業務渡航

安心・快適なビジネス旅行をサポート

全世界の航空会社の予約・発券、各国査証取得はもちろん、現地到着後のホテルの予約や通訳の手配まで、構築したノウハウを活かして安心・快適なビジネス旅行をご提供します。コスト削減やリスクマネジメントにも対応するBTM (Business Travel Management)などのサービスで、お客様の海外事業展開をサポートします。



都市交通  
不動産  
エンタテインメント  
情報・通信  
旅行  
国際輸送  
ホテル  
事業・ビジネス  
サステナビリティ  
グループ一覧



## 国際輸送事業 International Transportation

### グローバルに展開する高品質なサービスと、最適なロジスティクスを提供

国際物流のパイオニアとして、半世紀以上にわたって海外での事業を展開してきた実績とノウハウを活かし、航空・海上による一貫輸送や多国間輸送をプロデュース。通関、保管・管理、物流コンサルティングに至るまで、充実したサービスを展開し、お客様にとって最適なサプライチェーン・マネジメントをサポートします。



#### 国際航空貨物輸送

### 日本初のIATA航空貨物取扱代理店として、信頼の国際輸送サービスを提供

1948年に日本初の国際航空運送協会 (IATA) 認可の貨物代理店として、国際航空貨物輸送の業務に進出して以来、確固たるブランド力を築き上げてきました。物流の始点から終点まで一貫したサービスで、お客様から厚い信頼をいただいています。28の国と地域に100を超える自社拠点を有し、海外の現地法人や提携代理店も含め、迅速かつ安全なドア・ツー・ドアの国際輸送サービスを提供しています。



#### 国際海上貨物輸送

### 輸出入を問わず海上貨物輸送を、ドア・ツー・ドアで

外航海運利用事業者 (NVOCC) として、国際航空貨物輸送と同様にグローバルなネットワークを活かした国際海上貨物輸送を行っています。一般コンテナ輸送 [LCL (混載貨物)・FCL (コンテナ扱い貨物)] はもちろんのこと、特殊コンテナ輸送、在来船利用輸送、さらには輸出入通関や物流コンサルティングまで、お客様のニーズに応える最適なサービスをお届けします。



#### ロジスティクス

### 物流全体を最適化するソリューションを提案・実現

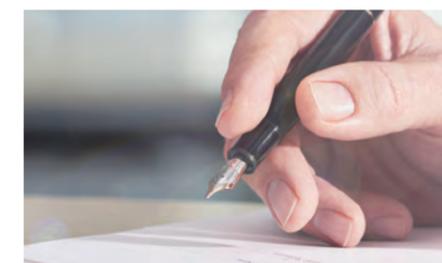
高度な物流コンサルティング能力を備えたエキスパートが、最先端のITを最大限に駆使し、お客様に最適なロジスティクス・ソリューションを提案。高機能倉庫での保管・管理、流通加工、配送など、物流全体を包括的に捉え、国内外において、高品質でスピーディーなオペレーションを実現します。また、2009年には、AEO制度\*における「特定保税承認者」に承認されました。



#### 通関業

### コンプライアンスに基づく適正・迅速な通関業務

貨物の内容や数量などを代行して税関に申告し許可を得る、貨物の輸出入に不可欠な通関手続きにも精通。全国6税関から通関営業許可を受け、通関士の有資格者を中心としたプロフェッショナル集団がコンプライアンスに基づいた適正・迅速な通関業務を実施しています。2017年には、AEO制度\*における「認定通関業者」の認定を取得しました。



\*貨物のセキュリティー管理とコンプライアンス体制が整備された事業者に対し、税関手続の緩和・簡素化策を提供する制度



## ホテル事業 Hotels

### 日本屈指のホテルグループを展開

現代人のより良い眠りをデザインする宿泊主体型ホテルから、レストランでの食事や宴会なども楽しめるシティホテル、非日常を満喫できるラグジュアリーホテルまで、お客様の思いに寄り添うホスピタリティーで最高のおもてなしをお届けします。



#### 阪急阪神第一ホテルグループ

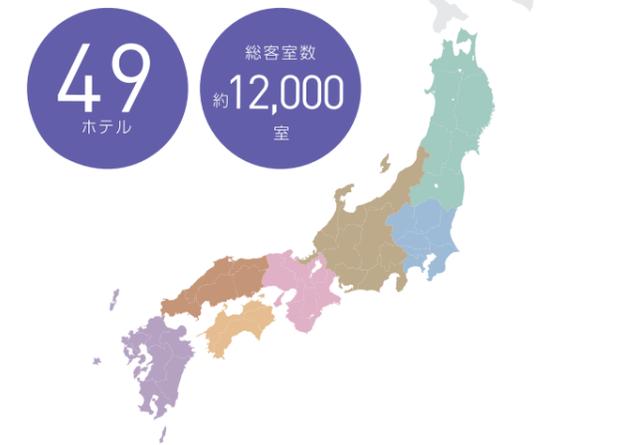
### 90余年の歴史と伝統を礎に チェーンホテルオペレーターとしてネットワークを拡大

東京、大阪をはじめ、東北から九州まで、全49ホテル、総客室数12,000室を超える日本屈指のホテルグループを展開しています。ラグジュアリーホテルからビジネスホテル、リゾートホテル、快眠を追求した宿泊主体型ホテル「remm(レム)」まで、幅広いタイプのホテルをラインアップ。2019年に1号店を開業した新ブランド「Hotel Hankyu RESPIRE(ホテル阪急レスパイア)」は、主にインバウンドのお客様をターゲットとしており、「和」を基調とした空間を提供します。また、チェーンホテルオペレーターとして、長年培ったホテル経営のノウハウを活かし、グループの加盟ホテルを幅広くサポート。ホテルネットワークの拡大と営業力の強化に努めています。



第一ホテル東京

大阪新阪急ホテル



#### 加盟ホテル一覧 (2020年7月1日現在)

##### 近畿

<直営ホテル 11ホテル>  
京都新阪急ホテル  
レム新大阪  
ホテル阪急インターナショナル  
大阪新阪急ホテル  
新阪急ホテルアネックス  
梅田OSホテル  
ホテル阪急レスパイア大阪  
ホテル阪神大阪  
ホテル阪神アネックス大阪  
千里阪急ホテル  
宝塚ホテル ※2020年6月21日移転開業

<チェーンホテル 6ホテル>  
ホテルポストンプラザ草津(びわ湖)  
ホテルロイヤルヒル福知山&SPA  
天橋立ホテル  
大阪第一ホテル  
ホテルベイガルス(関西空港)  
有馬さくら

##### 関東

<直営ホテル 9ホテル>  
第一ホテル東京  
第一ホテルアネックス  
レムプラス銀座  
レム東京京橋  
レム日比谷  
レム秋葉原  
レム六本木  
第一ホテル東京シーフォート  
吉祥寺第一ホテル

<チェーンホテル 6ホテル>  
銀座グレストン  
ホテル八重の罌東京 ※2020年7月6日開業  
アワーズイン阪急  
第一ホテル両国  
第一イン池袋  
第一イン湘南

##### 東北

<チェーンホテル 4ホテル>  
東京第一ホテル岩沼リゾート  
東京第一ホテル鶴岡  
東京第一ホテル米沢  
東京第一ホテル新白河

##### 中部・北陸

<チェーンホテル 3ホテル>  
富山第一ホテル  
第一イン新湊  
東京第一ホテル錦(名古屋市)

##### 中国

<チェーンホテル 3ホテル>  
ホテル一畑  
呉阪急ホテル  
東京第一ホテル下関

##### 四国

<チェーンホテル 6ホテル>  
高松国際ホテル  
JRホテルクレメント高松  
JRホテルクレメント徳島  
ザクラウンパレス新阪急高知  
東京第一ホテル松山  
今治国際ホテル

##### 九州

<直営ホテル 1ホテル>  
レム鹿児島

#### ザ・リッツ・カールトン大阪

### “もうひとつの我が家”のように落ち着いた雰囲気と 心温まるサービスでお客様をお迎え

阪急阪神第一ホテルグループ以外にも、ラグジュアリーホテルである「ザ・リッツ・カールトン大阪」を経営。米国に本拠を置くザ・リッツ・カールトンの日本における初のホテルとして、開業以来、高い評価を得ています。時代を超えたクラシカルな空間、そして心のこもったおもてなしとサービスで、お客様にユニークで思い出に残るパーソナルな体験を提供します。



レストラン ラ・ベ

# 事業トピックス Topics

阪急阪神ホールディングスグループは、持続的に成長を志向する企業グループとなることを目指してさまざまな取り組みを進めています。ここでは、当社グループの事業トピックスをご紹介します。

## 梅田エリアのバリューアップ - 深める沿線 -

### 梅田1丁目1番地計画 (ビル名称:大阪梅田ツインタワーズ・サウス)

大阪梅田において、大阪神ビルディングと新阪急ビルの一体的な建て替えを進めており、2018年4月にI期棟が竣工、6月には阪神百貨店(阪神梅田本店)が部分開業しました。2019年6月から新築工事に着手したII期部分は、百貨店ゾーン(2021年秋に全面開業予定)のほか、オフィスゾーン(地上11~38階)、カンファレンスゾーンで構成され、2022年春の全体開業を予定しています。

1フロア当たりの貸室面積3,500㎡超を誇るオフィスゾーンでは、オフィスワーカー専用フロアを設けるなど、働く人一人ひとりに快適なオフィス環境を提供します。カンファレンスゾーンでは、ビジネス情報の発信の場となる大小2つの多目的ホールを設置し、梅田地区のビジネス活動の活性化に貢献していきます。また、この建て替えと周辺公共施設の整備を一体的に行うことにより、都市機能の高度化や防災機能の強化、公共的空間の創出、良好な景観の形成などを図ります。



カンファレンスゾーン 大ホール(イメージ)



大阪梅田ツインタワーズ・サウス(イメージ)



提案時点(2018年5月)のイメージバースであり、今後変更の可能性があります。提供:うめきた2期開発事業者

### うめきた2期地区開発計画

JR大阪駅北側の「うめきた2期地区」の開発事業者は、阪急電鉄を含むJV9社(代表企業・三菱地所㈱)と阪急阪神不動産を含む設計・運営事業者6社が参画する企業連合(コンソーシアム)が選ばれました。うめきたの1期地区として2013年4月に開業したグランフロント大阪に続く、2期地区のまちづくりの方針・理念は「みどりとイノベーションの融合」。約4.5haの都市公園をはじめとした広大な緑の空間と、「新産業の創出」に向けたイノベーション施設のほか、ホテルやオフィスなどの施設が、2024年夏頃の先行まちびらきに向けて開発される予定です。

## 鉄道新線による交通ネットワークの整備 - 深める沿線 -

### 北大阪急行線の延伸

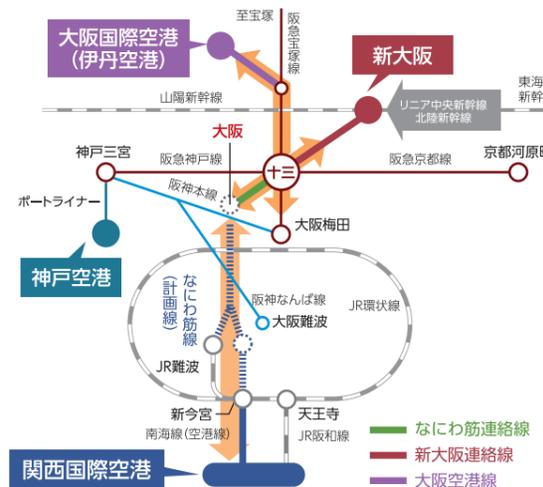
北大阪急行電鉄の現在の終端駅である千里中央駅から北へ2.5km延伸させる事業で、2023年度の開業を目指して工事を進めています。この延伸により、公共交通の利便性向上と大阪の南北軸の強化による交流人口の拡大を図ります。



### 新線計画

阪急電鉄では、3つの新線計画\*について検討を進めています。これらの新線により、関西の空のゲートウェイである関西国際空港・大阪国際空港(伊丹空港)やリニア中央新幹線が計画されている新大阪駅との結びつきをより深め、鉄道ネットワークを強化することで、将来にわたって多くのお客様に選ばれ続ける沿線を目指していきます。

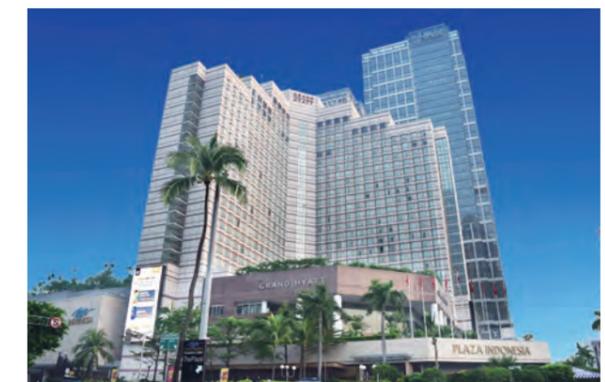
\* なにわ筋連絡線:うめきた2期地区内に新設される大阪駅から十三駅を結ぶ路線  
 新大阪連絡線:十三駅から新大阪駅を結ぶ路線  
 大阪空港線:宝塚線から分岐し、大阪国際空港(伊丹空港)を結ぶ路線



## 海外での不動産賃貸事業への参入 - 広げるフィールド -

阪急阪神不動産では、インドネシア・ジャカルタにおいて賃貸不動産(具体的には、同国を代表する商業・オフィス・ホテルからなる複合施設「プラザインドネシアコンプレックス」と、劇場・映画館などが入居する商業施設「fXスタイルマン」)を保有する現地事業体に出資し、海外での不動産賃貸事業に本格的に参入しました。

両施設はジャカルタ市内の中心地区にあるメイン通りに面し、また2019年4月に開業したインドネシア初の地下鉄「ジャカルタ都市高速鉄道(MRT)」の駅前という好立地に位置しており、インドネシアの不動産開発最大手の傘下企業などと共同で運営・管理を行っています。



プラザインドネシアコンプレックス



fXスタイルマン

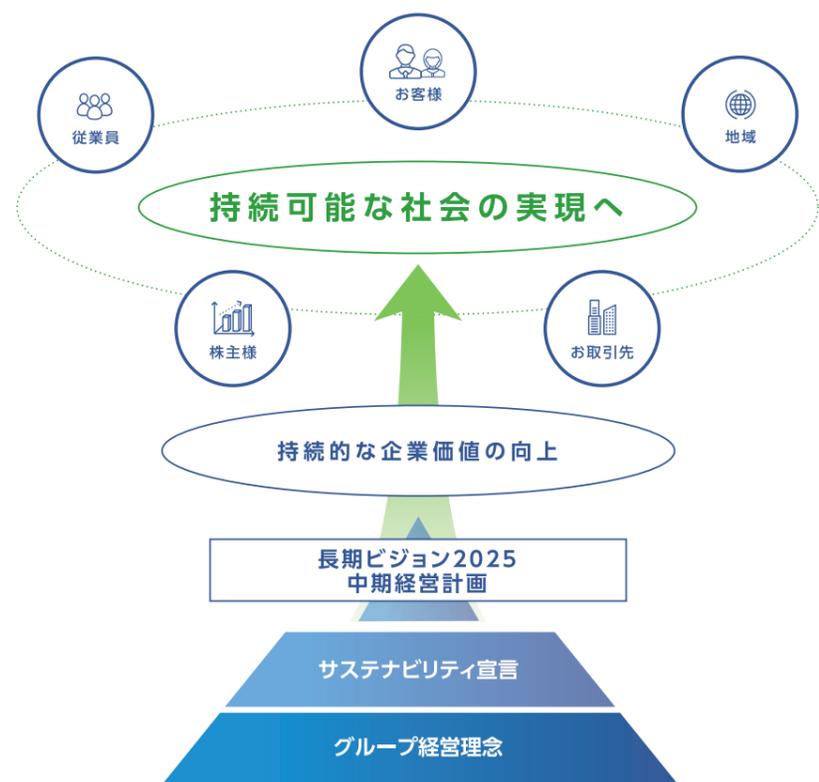
# 阪急阪神ホールディングス サステナビリティ宣言

阪急阪神ホールディングスグループでは、「『安心・快適』、そして『夢・感動』をお届けすることで、お客様の喜びを実現し、社会に貢献します」というグループ経営理念を掲げ、持続的な成長を志向するとともに、その基盤となるESG(環境・社会・企業統治)に関してもさまざまな取組を推し進めています。

一方、いま社会は、気候変動への対応、安全・安心への関心の高まり、価値観の多様化への対応、技術革新の一層の進展など、さまざまな課題に直面しており、国連加盟国が2030年までに解決を目指す「SDGs(持続可能な開発目標)」においても、企業が果たすべき役割はますます大きくなってきています。

こうしたことから、当社グループでは、持続可能な社会の実現に向け、今後の取組の方向性を示すものとして「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」を策定し、2020年5月に公表しました。

これからは同宣言に基づき、グループのESGに関する取組をさらに加速させるとともに、事業を通じて社会課題の解決に努め、持続的な企業価値の向上、ひいては持続可能な社会の実現につなげていきます。



## 基本方針

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

私たちは、100年以上積み重ねてきた「まちづくり」「ひとづくり」を未来へつなぎ、地球環境をはじめとする社会課題の解決に主体的に関わりながら、すべての人々が豊かさ喜びを実感でき、次世代が夢を持って成長できる社会の実現に貢献します。

## 重要テーマ

当社グループがサステナブル経営を進める上で、重きを置く6つのテーマ

<h3>1 安全・安心の追求</h3> <p>鉄道をはじめ、安全で災害に強いインフラの構築を目指すとともに、誰もが安心して利用できる施設・サービスを日々追求していきます。</p>	<h3>2 豊かなまちづくり</h3> <p>自然や文化と共に、人々がいきいきと集い働き住み続けたいくなるまちづくりを進めます。</p>	<h3>3 未来へつなげる暮らしの提案</h3> <p>未来志向のライフスタイルを提案し、日々の暮らしに快適さと感動を創出します。</p>
<h3>4 一人ひとりの活躍</h3> <p>多様な個性や能力を最大限に発揮できる企業風土を醸成するとともに、広く社会の次世代の育成にも取り組みます。</p>	<h3>5 環境保全の推進</h3> <p>低炭素社会や循環型社会に資する環境保全活動を推進します。</p>	<h3>6 ガバナンスの充実</h3> <p>すべてのステークホルダーの期待に応え、誠実で公正なガバナンスを徹底します。</p>

## 主な目標(非財務の指標)

- 鉄道事業における有責事故ゼロ
- 従業員満足度：継続的に前回調査※1を上回ること
- 女性管理職比率：2030年度に10%程度まで向上
- 新規採用者に占める女性比率：30%以上を継続
- CO<sub>2</sub>排出量の削減率(2030年度目標2013年度比)：
  - ・当社および子会社の国内事業所における排出量を26%※2削減
  - ・阪急電鉄および阪神電気鉄道の鉄道事業における電力使用に伴う排出量を40%削減

※1 2年に一度実施

※2 パリ協定に基づく日本の温室効果ガスの削減目標として、日本政府が掲げる目標値と同水準

# Social 社会

## 重要テーマ④ 一人ひとりの活躍

### 働きがいの向上および労働環境の整備、ダイバーシティの推進

当社グループでは、すべての従業員が能力を最大限発揮し活躍できるよう、職場環境や各種制度の整備を進めています。

#### 〈柔軟な働き方の支援〉

グループ各社の事業特性に応じて、フレックスタイム制、年次有給休暇の半日取得、ノー残業デーなどの導入に取り組んでいます。

#### 〈仕事と育児・介護の両立支援〉

ライフイベントやキャリアに合わせて利用内容を選択し、安心して仕事と育児・介護を両立できるように、各種制度の整備を進めています。

#### 〈女性の活躍推進〉

女性の採用拡大や職域の拡大など、性別にかかわらずすべての従業員が活躍できる組織づくりを進めています。

#### 〈障がい者雇用〉

グループ全体で、障がい者雇用の促進に取り組む体制を構築しています。

#### 〈従業員満足度調査の実施〉

従業員満足度調査を定期的の実施し、分析結果を職場環境の整備に反映しています。



### 次世代を育成する機会の提供

当社グループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」において、以下の取り組みを実施しています。

#### 〈阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊〉

当社グループの各事業において施設・人材を活用し、夏休み期間中の小学生に、多彩で本格的な仕事体験や学びの機会を提供。2019年度までに累計389のプログラムに1万7,000人超の小学生を招待しました。



#### 〈阪急ゆめ・まち わくわくWORKプログラム〉

阪急電鉄の管理職が、同社の創業者である小林一三が手掛けた「まちづくり」や、まちを支えるさまざまな仕事を紹介する出張授業を小学校で行い、小学生に将来の仕事を考える機会を提供しています。2019年度までに延べ197校で約1万7,000人の小学生を対象に実施しました。



### 阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト

当社グループは、100年以上の長きにわたり、阪急阪神沿線を中心とした地域社会に生まれ、信頼関係を築いてきました。これからの100年も、この地域社会の一員として歩んでいくために、2009年4月より、グループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を推進しています。

**基本方針** 阪急阪神沿線を中心に、私たち一人ひとりが関わる地域において、「未来にわたり住みたいまち」をつくることを目指します。

#### 重点領域



地域に密着した事業を行ってきたグループとして、地域コミュニティが安全・安心かつ文化的で、環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくりに取り組みます。



未来の地域社会を担う人材である子どもたちが、夢を持って健やかに成長する機会を創出します。



### 健康経営の推進

当社グループでは、グループ経営理念において「人の尊重」を大切な価値観とし、従業員やその家族の健康がグループの豊かな未来の礎であると考え、健康経営を推進しています。

#### 〈健康宣言の制定〉

一人ひとりの健康意識の向上と働きがいのある職場の実現を推進するため、2018年4月に「健康宣言」を制定しました。

**阪急阪神ホールディングスグループ 健康宣言**

阪急阪神ホールディングスグループでは、従業員やその家族の心身の「健康」が、幸せの源泉であるとともに、グループの豊かな未来の礎であると考えています。また、お客様に「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けするためには、みんなが健康で多様な個性や能力を最大限に発揮することが何よりも大切です。

これを実現するために、私たちは自らの健康に高い意識を持ち、職場の仲間や家族とともに健康づくりに取り組みます。

ここに阪急阪神ホールディングスグループは、「阪急阪神Wellnessチャレンジ」をスローガンに、一人ひとりの健康づくりを積極的に支援するとともに、生き活きと働くことができる職場環境づくりに努めることを宣言します。

2018年4月

阪急阪神ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 健康経営推進責任者  
杉山 健博

#### 〈健康経営優良法人の認定〉

グループ11社が『健康経営優良法人 2020』の認定を取得しました。

大規模法人部門（ホワイト500）：阪神電気鉄道

大規模法人部門： 阪急電鉄、阪急阪神不動産、阪急交通社、アイテック阪急阪神

中小規模法人部門： 阪急阪神リート投信、阪急阪神不動産投資顧問、中央電設、阪急阪神保険サービス、阪急メディアックス、阪急コンストラクション・マネジメント



※「健康経営優良法人認定制度」とは、経済産業省と日本健康会議が共同で始めたもので、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組のもと、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。大規模法人部門のうち上位500社が「ホワイト500」の対象となります。

### 人権の尊重およびハラスメントの防止

当社グループでは、「人権の尊重に関する基本理念」と「人権の尊重に関する基本方針」を明文化し、従業員一人ひとりの人権感性を高めるための啓発活動に取り組んでいます。

中でも職場におけるハラスメントについては、従業員の能力発揮を阻害する重大な問題と捉え、トップメッセージの発信や教育・啓発活動、従業員対象のアンケート調査など、グループ全体でハラスメント根絶に向けた取り組みを進めています。



## Environment 環境

### 重要テーマ⑤ 環境保全の推進

**環境基本理念**

阪急阪神ホールディングスグループは、地球環境の保全は人類共通のテーマであるとの認識のもと、よりよい地球・生活環境を次世代に引き継ぐため、環境に配慮した事業活動を推進し、持続的発展が可能な社会づくりに貢献します。

#### 温室効果ガスの排出量の削減・エネルギー効率の改善

省エネ車両を計画的に導入していくほか、賃貸ビルにおける省エネ設備の導入も促進。  
また、阪急・阪神沿線の駅や車内、宝塚大劇場などのグループの各施設において、LED照明の導入も順次進めています。



#### 再生可能エネルギー(太陽光発電など)の活用

阪急摂津駅・阪神大石駅やHEPファイブ、阪急西宮ガーデンズのほか、阪神甲子園球場の銀傘などグループの施設に太陽光発電設備を設置。自然エネルギーの活用に取り組んでいます。



#### 環境配慮型建物(グリーンビルディング)の拡大

(株)日本政策投資銀行の「DBJ Green Building認証」を受けた梅田1丁目1番地計画(ビル名称:大阪梅田ツインタワーズ・サウス)、阪急西宮ガーデンズ、HEPファイブなど、環境配慮型建物(グリーンビルディング)の拡大に取り組んでいます。



#### 廃棄物発生抑制およびリサイクルの推進

阪神甲子園球場では、プラスチックカップのリサイクルに取り組んでいます。  
また、阪急阪神ホテルズでは、直営ホテル内直営レストラン・宴会場で使用するストローを2019年から生分解性ストローに順次切り替えています。  
これにより、年間約90万本のプラスチック製ストローの使用が削減できる見込みです。



## Governance 企業統治

### 重要テーマ⑥ ガバナンスの充実

#### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社では、「お客様をはじめとする皆様から信頼される企業でありつづける」ために、経営の透明性・健全性を一層高めることや、法令等の遵守、適時適切な情報開示等を通じて、コーポレート・ガバナンスの強化・充実を図っています。

上記の基本的な考え方に基づき、以下の方針を定め、コーポレートガバナンス・コードの各原則に取り組み、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指します。

- 株主の権利を尊重し、平等性を確保します。
- 株主を含むステークホルダーの利益を考慮し、それらステークホルダーと適切に協働します。
- 会社情報を適切に開示し、透明性を確保します。
- 取締役会の役割・責務を適切に遂行し、高度な監督機能と意思決定機能の確保に努めます。
- 当社の持続的成長や中長期的な企業価値向上の観点から、株主と建設的な対話を行います。

#### コーポレート・ガバナンス体制

当社グループは、純粋持株会社体制を採用しており、事業執行は基本的に傘下のグループ会社が担当し、当社はグループ全体の監視・監督を主要な職務とすることで、監視・監督機能と執行機能を分離した体制としています。

そのような体制のもと、当社は、

- 当社及び当社グループの経営方針、経営戦略等に関する事項の決定
- 各コア事業の中期・年度経営計画の承認
- 事業執行会社に対して適時その進捗状況に関する報告の要求
- グループ会社がグループ経営の観点から重要な事項(例：一定金額以上の投資)を実施する場合における事前承認

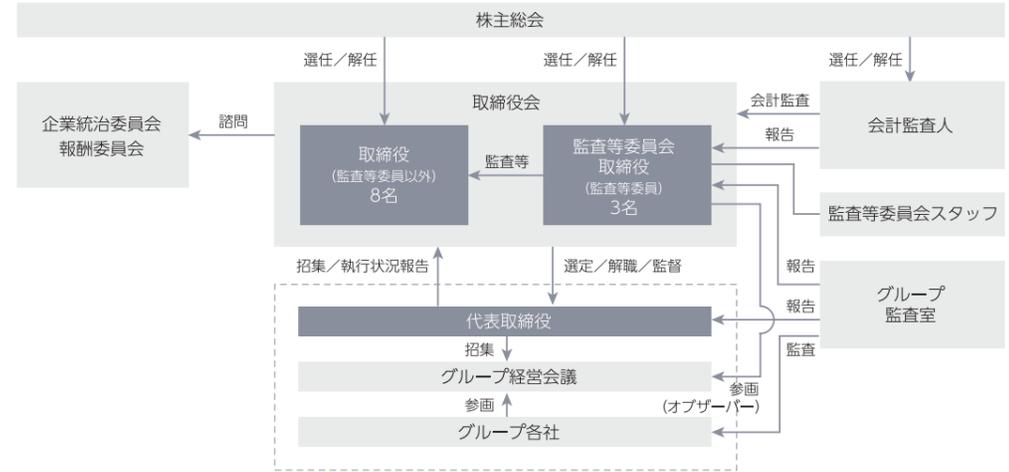
などにより、各会社を監視・監督し、グループ全体のガバナンスの向上を図っています。

そのため、上記事項については、社外取締役を加えて構成された当社取締役会を承認または報告の場とするともに、その前置機関として、当社グループの各コア事業の代表者等もメンバーに加えたグループ経営会議を設置しています。

また、当社役員の人事・報酬の透明性の確保、社外役員間の連携などを目的として、企業統治委員会及び報酬委員会を設置しています。

さらに、当社グループでは、グループとしての総合力強化の一環として、資金調達を当社に一元化し、事業執行会社には、当社が承認した経営計画の範囲内において必要な資金が配分される仕組みの整備を推進するなど、資金面でのガバナンスの強化にも努めています。

コーポレート・ガバナンス体系図



# 阪急阪神ホールディングス グループ一覧

(2020年7月1日現在)

阪急阪神ホールディングス株式会社  
Hankyu Hanshin Holdings, Inc

会社創立 1907年(明治40年)10月19日  
 登記上本店 〒563-0056 大阪府池田市栄町1番1号  
 本社事務所 〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目16番1号  
 人事総務室 東京統括部 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル17階  
 資本金 994億74百万円

## 中核会社

- ・ 阪急電鉄(株)
- ・ 阪神電気鉄道(株)
- ・ 阪急阪神不動産(株)
- ・ (株)阪急交通社
- ・ (株)阪急阪神エクスプレス
- ・ (株)阪急阪神ホテルズ

## 都市交通事業

- ・ アルナ車両(株)
- ・ (株)いいなダイニング
- ・ 池田エルピーガス(株)
- ・ (株)エキ・リテール・サービス阪急阪神
- ・ 大阪空港交通(株)
- ・ 大阪阪神タクシー(株)
- ・ (株)オムテック
- ・ 北大阪急行電鉄(株)
- ・ 神戸高速鉄道(株)
- ・ 丹後海陸交通(株)
- ・ 西大阪高速鉄道(株)
- ・ 西山ドライブウェイ(株)
- ・ 能勢電鉄(株)
- ・ (株)ハックス阪神
- ・ 阪急観光バス(株)
- ・ 阪急通勤バス(株)
- ・ (株)阪急スタイルレーベルズ
- ・ 阪急設計コンサルタント(株)
- ・ 阪急タクシー(株)
- ・ (株)阪急ドライブングスクール服部緑地
- ・ 阪急バス(株)
- ・ (株)阪急阪神エムテック
- ・ (株)阪急阪神電気システム
- ・ (株)阪急レールウェイサービス
- ・ 阪神車両メンテナンス(株)
- ・ (株)阪神ステーションネット
- ・ 阪神タクシー(株)
- ・ 阪神バス(株)
- ・ リッツ(株)
- ・ (株)レールウェイオペレーション阪急

## 不動産事業

- ・ アドバンス開発(株)
- ・ (株)梅田センタービル
- ・ 大阪ダイヤモンド地下街(株)
- ・ (株)キョウトウ
- ・ 千里朝日阪急ビル管理(株)
- ・ (株)阪急仁川スポーツガーデン
- ・ 阪急阪神エステート・サービス(株)
- ・ 阪急阪神クリーンサービス(株)
- ・ 阪急阪神ハイセキュリティサービス(株)
- ・ (株)阪急阪神ハウジングサポート
- ・ 阪急阪神ビルマネジメント(株)
- ・ 阪急阪神不動産投資顧問(株)
- ・ 阪急阪神リート投信(株)
- 〈海外現地法人〉
- ・ HANKYU HANSHIN PROPERTIES SINGAPORE PTE. LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN PROPERTIES (THAILAND) CO., LTD.
- 〈その他の団体〉
- ・ 公益財団法人 都市活力研究所
- ・ 医療法人 阪急共栄会

## エンタテインメント事業

- ・ (株)ウエルネス阪神
- ・ (株)梅田芸術劇場
- ・ (株)宝塚クリエイティブアーツ
- ・ (株)宝塚舞台
- ・ (株)タカラヅカ・ライブ・ネクスト
- ・ (株)鳴尾ウォーターワールド
- ・ (株)阪神コンテンツリンク
- ・ (株)阪神タイガース
- ・ (株)ピーアンドピー浜松
- ・ 六甲山観光(株)
- 〈その他の団体〉
- ・ 学校法人 宝塚音楽学校
- ・ 宝塚歌劇団

## 情報・通信事業

- ・ アイテックソフトウェア(株)
- ・ アイテック阪急阪神(株)
- ・ (株)アールワークス
- ・ (株)エフエム・キタ
- ・ (株)システム技研
- ・ (株)日本プロテック
- ・ 阪神ケーブルエンジニアリング(株)
- ・ 姫路ケーブルテレビ(株)
- ・ (株)ベイ・コミュニケーションズ
- ・ (株)ミマモルメ
- ・ ユミルリンク(株)
- ・ BAN-BANネットワークス(株)

## 旅行事業

- ・ (株)エアサーブ
- ・ (株)たびこふれ
- ・ (株)日経カルチャー
- ・ (株)阪急トラベルサポート
- ・ (株)阪急阪神ビジネスラベル
- ・ 阪神トラベル・インターナショナル(株)
- ・ (株)ホップス
- 〈海外現地法人〉
- ・ 阪急国際旅行社(中国)有限公司(HANKYU INTERNATIONAL CHINA CO., LTD.)
- ・ HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL EUROPE S. R. L.
- ・ HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL SINGAPORE PTE. LTD.
- ・ HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL EUROPE UK LTD.

## 国際輸送事業

- ・ (株)阪急阪神ロジパートナーズ
- 〈海外現地法人〉
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(USA) INC.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS MEXICO S.A.DE C.V.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(DEUTSCHLAND) GMBH
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(NETHERLANDS) B.V.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(UK) LIMITED
- ・ INTRASPEED SOUTH AFRICA (PTY) LTD.
- ・ INTRASPEED ARC PRO (KENYA) LIMITED
- ・ INTRASPEED EAST AFRICA LIMITED
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(BEIJING) CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN INTERNATIONAL LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS (SHANGHAI) CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS (GUANGZHOU) LIMITED
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS (HK) LIMITED
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS (TAIWAN) LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS (KOREA) CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS SOUTHEAST ASIA PTE. LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS (SINGAPORE) PTE. LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS (THAILAND) CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS (MALAYSIA) SDN. BHD.
- ・ HANKYU LOGISTICS (M) SDN. BHD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS PHILIPPINES, INC.
- ・ HANKYU HANSHIN LOGISTICS PHILIPPINES INC.
- ・ HANKYU CUSTOMS BROKERAGE INC.
- ・ PT. HANKYU HANSHIN EXPRESS INDONESIA
- ・ PT. HANKYU HANSHIN LOGISTICS INDONESIA
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS (VIETNAM) CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS INDIA PRIVATE LIMITED
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS (MYANMAR) CO., LTD.
- ・ HOT Logistics Co., Ltd.
- 〈海外駐在員事務所〉
- ・ MILANO OFFICE
- ・ DUBAI OFFICE
- ・ MOSCOW OFFICE
- ・ PHNOM PENH OFFICE

## ホテル事業

- ・ (株)天橋立ホテル
- ・ (株)有馬ビューホテル
- ・ (株)呉阪急ホテル
- ・ 京浜サービス(株)
- ・ 第一ホテルサービス(株)
- ・ (株)阪神ホテルシステムズ

## その他の事業

- ・ (株)あしすと阪急阪神
- ・ (株)いきいきライフ阪急阪神
- ・ (株)池田名店街
- ・ オーエス(株)
- ・ 関西テレビ放送(株)
- ・ 神戸電鉄(株)
- ・ (株)ステーションネットワーク関西
- ・ 中央電設(株)
- ・ (株)東京楽天地
- ・ (株)鳥取砂丘会館
- ・ 阪急コンストラクション・マネジメント(株)
- ・ 阪急産業(株)
- ・ (株)阪急阪神カード
- ・ (株)阪急阪神ビジネスアソシエイト
- ・ (株)阪急阪神フィナンシャルサポート
- ・ 阪急阪神保険サービス(株)
- ・ (株)阪急阪神ポイント
- ・ 阪急阪神マーケティングソリューションズ(株)
- ・ (株)阪急メディアックス
- ・ 阪神園芸(株)
- ・ (株)ハンシン建設
- ・ (株)ライフデザイン阪急阪神
- 〈その他の団体〉
- ・ 公益財団法人 阪急文化財団

## 阪急阪神東宝グループ(2020年3月31日現在)

阪急阪神東宝グループは、当社グループ、阪急百貨店と阪神百貨店を核に百貨店事業をはじめとする小売関連事業を展開するエイチ・ツー・オー リテイリンググループ、映画製作・配給・興行を中心に事業を展開する東宝グループから構成される企業グループです。

グループ会社数 202社5団体  
 グループ従業員数 35,627人  
 グループ売上高 1兆9,227億円

